

「いざ」というときの備えは万全ですか？

災害用LPガス供給ユニットのご案内

● 平常時は、LPガスを調理や給湯・暖房に利用できます。

● 地域防災活動として、防災訓練などの地域活動に貢献できます。

● 災害発生時は、避難所の機能として炊き出しなどに活用できます。



『災害用LPガス供給ユニット』は、新しい形で、地域防災に貢献します。

従来の災害時対応

災害発生後、避難所等に、50kg、20kgのLPガスボンベを搬入して熱源として炊き出し等に利用するため、災害発生直後に間に合わないこともありました。



新しい災害時対応

『災害用LPガス供給ユニット』は、避難所等に、あらかじめ300kg～1,000kgのLPガス貯槽を設置し、常にLPガスが利用できる状態になっているので、迅速な対応が行なえます。



◆『災害用LPガス供給ユニット』費用の目安

設置場所の条件や供給ユニットメーカーによって費用が異なります。

タイプ	サイズの目安	供給ユニットのみ	供給ユニット + 〔 燃焼器ユニット 給湯ユニット 発電・照明ユニット 〕	基礎工事費用 (運送費は含まれません)
300kg	幅 300cm 奥行 155cm 高さ 128.5cm	¥900,000前後	¥2,600,000前後	¥100,000～ 200,000前後
500kg	幅 300cm 奥行 155cm 高さ 149cm	¥1,050,000前後	¥2,750,000前後	
1,000kg	幅 320cm 奥行 185cm 高さ 189cm	¥1,250,000前後	¥2,950,000前後	



災害用LPガス供給ユニット

- 詳しいユニット内容や費用は、各メーカーにお問い合わせください。
- LPガス料金などは、利用者のご負担となります。

お問い合わせ先

『災害用LPガス供給ユニット』が、 万一の災害時に地域の皆さまを守ります！



大きな災害が起こったときは、避難後の最初の2日間が大切だと言われています。
この災害用LPガス供給ユニットなら、炊き出しや給湯、暖房、電源確保など、
さまざまな用途にお役立ていただけます。

災害用LPガス供給ユニットとは

『災害用LPガス供給ユニット』は、300kg、500kg、1,000kgのLPガス貯槽タイプがあり、「ガスメーター」や「ガス漏れ警報器」などが一体化されています。業務用コンロや炊飯器、給湯器、暖房器、発電機などを組み合わせて、災害時には大きな力を発揮します。



災害発生時

は、避難所の機能として炊き出しなどに活用できます。

例えば、1,000kgタイプの貯槽に500kgのLPガスが残っていた場合には、約100人の被災者が、調理・入浴・暖房用に7日間利用でき、災害発生時の初期対応から貢献できます。



地域防災活動

として、防災訓練などの地域活動に貢献できます。

災害に備えた防災活動は、地域の皆さまや施設内の訓練が重要です。『災害用LPガス供給ユニット』は、「炊き出し」の訓練や、寒い時期を想定した「暖房提供」の訓練など、地域や施設の防災活動にご活用いただけます。



平常時

は、LPガスを調理や給湯・暖房に利用できます。

- 避難所などの新設時や、施設の熱源設備改善を行う場合には、『災害用LPガス供給ユニット』を設置し、LPガス設備を導入することで、平常時でも調理や給湯・暖房にご利用いただけます。
- LPガスを使用している場合は、LPガスボンベに代わり『災害用LPガス供給ユニット』を設置し、LPガス設備に接続することで、平常時でも通常通り調理や給湯・暖房にご利用いただけます。
- 都市ガスを利用している場合は、『災害用LPガス供給ユニット』を設置し、調理や給湯・暖房設備等をLPガス設備に変更することで、平常時でもご利用いただけます。



平常時にご使用の事例

